

1 ペンとメモは常にセットで 胸ポケットにイン

Highly effective habits of millionaires

お

もしも超一流のことに、ファーストクラスの常連でもある、「超一流」と呼ばれる人たちに共通する特徴として、いちばんに挙がったのが、「ペンとメモ」だ。

「ファーストクラスをご利用になるお客様に、ペンを貸して」とおっしゃる方はひとりもいませんでした。

ご存じのように、国際線では人国書類に記入する必要がある。カードが配られ、いざ記入しようとしたとき、ペンが手元がない、またはペンを持ち合わせていないことに気づき、焦った覚えのある読者も多いのではないだろうか。そんな人のために、CAは必ず複数のペンを用意しているのだそうだ。「ファーストクラスのお客様がご搭乗の際、コートやジャケットをお預かりするのですが、みなさん必ずペンを取り出され、ワイシャツの胸ポケットに移し替えるのです。あとでペンをお探しの様子の方もいらつしやいましたが、CAが用意しているペンではなく、「コートのポケットに入っているから、取ってきてくれるかな？」と、あくまでもご自分の使い慣れたものを使用することにこだわります」

ファーストクラスの値段はいくら？

ファーストクラス、特に国際線のファーストクラスは、他クラスと違い早割などの事前割引のない、正規運賃チケットのみが適用される。

東京⇄ニューヨーク (JFK) 間の平均的な正規運賃

エコノミークラス 50万円前後

ビジネスクラス 100万円前後

ファーストクラス 200万円前後

実にエコノミークラスの4倍。ビジネスクラスの2倍！ファーストクラスは、往復25時間ほどに200万円を支払う能力のある人だけの「特別な空間」なのだ。

エコノミーやビジネスクラスでは、CAの胸ポケットにペンを見つけたるやいなや、無言でいきなり胸元に手を伸ばす不躾なお客も少なくないのだという。良識ある読者の中には、こんなセクハラまがいの行為に出る人はいないだろうが……。

ところで、ファーストクラスのエリートたちが、バッグやポーチの中ではなく、取り出しやすいように常にペンを身につけているというのには、単に入国書類を書くときに便利だからというわけではない。

「わたしはCAとのささいな会話でもじつにこまめにメモを取られます。手の平に載るような小さなメモ帳や、一枚ずつになっているメモカード、または手頃な大きさの手帳をすぐに取り出せるよう、ペンと一緒に常に胸ポケットに用意していました」

ビジネスエリートたるもの、ペンとメモはセットにして持ち歩くのが流儀。なぜなら、彼らはちょっとした思いつきや、ビジネスヒントも逃さないようにする習慣を身につけているからであり、それは例外なく、機上でも発揮されるのである。

CAとの会話、到着地のインフォメーションビデオで流れた情報

そして自身が思いついたことなど、気になることはいつでもどんなことでもメモする。

「メモカード一枚に一項目の方もいらつしやいますし、手帳の二ページにいろいろなことをびっしりと書き留められている方も。必ずしもキレイに書き留めるのが、超一流の証し」というわけではありませんが、みなさんご自分のスタイルを確立されています」

ビジネスマナー上無礼とされている「名刺の裏にメモする」行為でも、彼らは臆することなく、その場で書き込んでいくという。

「それを見ていたわたしたちにも不快感はありません。話に耳を傾け、発言をメモして参考にしてくださるという、どんな相手でも尊重するその姿勢に感動を覚えるほどです」

本当に大切なものは、マナーの型ではない。型にガチガチに縛られることは逆に余裕のない証拠なのである。

ファーストクラスの常連であるビジネスエリートたちは、ときにTPOに合わせて柔軟に対応し、自分の流儀をつくり上げる。

「型を知ったうえで、型を破る」。これが、超一流と呼ばれる成功者たちの共通「スタイル」なのだ。

ファーストクラスに乗る人の



First Class etiquette

こちらはJALファーストクラス。完全なプライベート空間を確保できるブースタイプで、シートを引き出せば足を伸ばしてゆったりと眠れる。

「極上の気遣い」

ファーストクラス——。

そこは、搭乗者のうちたった3%の人間しか立ち入ることのできない“知られざる世界”である。

そんな特別な空間で、真のビジネスエリートたちが見せる素顔とは……。

そして彼らにとってはごくごくあたり前の習慣、「気遣い」とは……。

キャビンアテンダントも感動、一億稼ぐビジネスエリートの素顔

CA-STYLE主宰 ● 美月あきこ

Akiko Mizuki



日系、外資系航空会社の国際線キャビンアテンダント (CA) として活躍後、女性の転職・就職を支援する会社CA-STYLEを立ち上げる。人財育成コンサルタントとして、現在も全国各地で講演・研修を行う。著書に、12万部のベストセラー『ファーストクラスに乗る人のシンプルな習慣』などがある。

「ファーストクラスのお客様でわたしが参考にした、真似したいと思った方々は、ビジネスでトップに上りつめた、本物のエリート。彼らの習慣や身につけている『社会的スキル』はどんな業界、どんな時代でも通用するものでした」

日系、外資系航空会社のCA (キャビンアテンダント) として、ファーストクラスで数多くのVIP客へのサービスを担当してきた美月あきこ氏によると、機内で彼らが見せる素顔には、共通の「極上の気遣い」が隠れているという。

「それらはとてもシンプルなものですが、その超一流の習慣をコツと真似て実践した結果、わたし自身も起業できたのです」